2.4Gワイヤレスマウス取扱説明書

MA-WH24シリーズ

最初にご確認ください

セット内容
- ●マウス本体 ……1台
- ●直付けレシーバー …1台
- ●USB充電ケーブル…1本
- ●単4充電池 ……2本
- ●取扱説明書 ……1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(http://www.sanwa.co.jp/)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

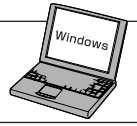
サンワサプライ株式会社

目　次

1 ●ワイヤレスマウスの接続手順
2 ●特長
●警告
・テレビ/ラジオの受信障害について　・注意
●健康に関する注意
3 ●対応機種・対応OS
・対応機種　・対応OS
●マウスの準備（電池の入れ方、電源のON・OFF）
4 ●マウスの接続（電池の充電）
5 ●マウス（レシーバー）の接続
・本製品をUSBポート接続する際の注意（Windowsの場合）
・BIOS上でUSBがdisable（ディセーブル=無効）になっている場合（Windowsの場合）
6 ・レシーバーをUSBポートに接続する（Windowsの場合）
8 ・レシーバーをUSBポートに接続する（Mac OS Xの場合）
●IDの設定方法（場合により設定）
9 ●本製品の使用方法
・左ボタン・右ボタン　・ホイール（スクロール）
・ホイールボタン（スクロールボタン）　・ズーム
10 ●ご使用上の注意
・Windows Meで本製品をご使用の場合
・Windows Me/98SE/98でご使用の場合
11 ●「故障かな……と思ったら」
12 ●保証規定

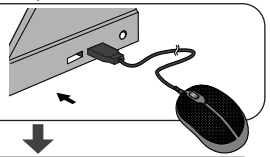
ワイヤレスマウスの接続手順

対応OSを確認します。
→P3

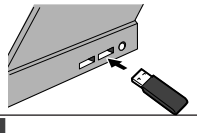


マウスに付属の充電池を入れます。
→P3

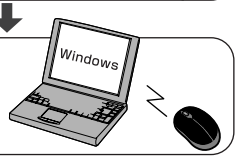
マウスを充電します。
パソコンとマウスをUSB充電ケーブルで接続します。
→P4



・コンピュータの電源を入れWindowsを起動します
・パソコンのUSBポートにレシーバーを接続します。
→P5



レシーバーの接続が完了したらマウスを動かしてカーソルが動作するかお試しください。
※カーソルが動作しない場合はID設定を行ってください。
→P8



詳細は各ページをご覧ください。

特長

このたびは2.4Gワイヤレスマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は2.4GHz　RF方式のワイヤレスマウスなので、電波障害を受けにくく、半径10mの広範囲で安定したデータ通信が可能です。入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能になります。
マウス本体にレシーバーを収納できるので、携帯にも便利です。また、スクロールボタンを回転・クリックするだけで簡単に画面スクロールが行えます。
※ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

重要！　本製品についてのお願い

ワイヤレスLANや携帯電話などのワイヤレス環境の中で、このマウスは無線混信の問題を解決する為、電波干渉が発生した際自動的にチャンネルが切り替わるという機能が付いています。チャンネル変更の際、マウスカーソルは1秒～2秒程度動きが鈍くなりますが、チャンネル変更後カーソルはスムーズな動きに戻ります。これはチャンネルが自動的に切り替わる際の症状でマウスの不良ではありません。また、手動でもチャンネルの切り替えは可能ですので、その方法については本紙内の「ID/チャンネルの設定方法」の内容を参考にしてください。
尚、ご購入後マウス接続した際、マウスカーソルの動きがスムーズでない場合や全く動かない場合は、チャンネルの切り替え設定（手動で）を必ず行ってください。

警　告

■テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。
ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。
ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。
●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
●テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
●状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注　意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

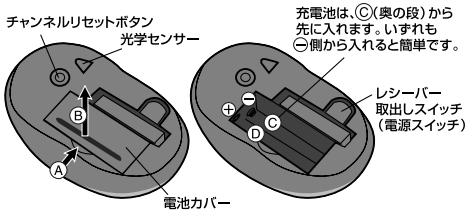
対応機種・対応OS

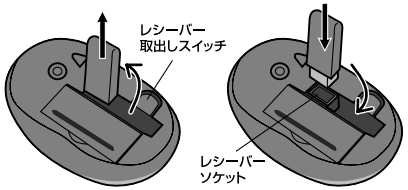
■対応機種
●Windows搭載パソコン
各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
●Apple iMac、iBook、Power Mac G5/G4/G3シリーズ
※USBポート（Aタイプコネクタ）を持つ機種。

■対応OS
●Windows Vista・XP・2000・Me・98SE・98及び
Mac OS X（10.2以降）
※Mac OS X（10.2以降）は、標準インストールされているInternet Explorer、Mail、TextEdit及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。
※機種により対応できないものもあります。
※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

マウスの準備（電池の入れ方、電源のON・OFF）

1.マウス底面の電池カバーをⒶ方向に押しながらⒷ方向に持上げ、取外します。
2.付属の単四充電池をマウスに入れます。※正しい極性で入れてください。
3.電池カバーを、取外したときと逆の手順で閉じます。
4.レシーバーがマウス裏面の収納部にある場合は、レシーバー取外しスイッチを押し、取出してください。**これで電源がONの状態になります。**
5.**電源をOFFにするには、レシーバーを収納**してください。レシーバーをレシーバーソケットに差込み、90度回転させると収納できます。
※マウスを長時間使用しない場合や携帯する際に光学センサーが点灯していると電池を消耗しますので、電源をOFFにすることをお勧めします。
※電源には、付属の単四充電池をお使いください。アルカリ/マンガン乾電池を使用すると、マウス等を破損する原因になります。





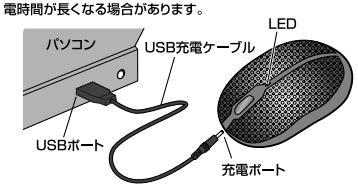
<レシーバーの取外し>
電源ON

<レシーバーの収納>
電源OFF

マウスの接続（電池の充電）

マウスに電池を挿入したら、パソコンのUSBポートとマウスを付属のUSB充電ケーブルで接続し、充電します。

1.マウスにUSB充電ケーブルを接続します。
2.パソコンのUSBポートにUSB充電ケーブルを接続します。
3.電池の充電が開始されます。充電中にLEDは赤く点灯することになります。
4.充電時間は、環境によって異なりますが、電池が完全に空の場合、10時間以上必要です。連続10時間以上充電されると、LEDは消灯します。（充電中に電源供給が止まると、再度電源供給が開始されてから10時間以上で、LEDは消灯します。）LEDの充電表示は、あくまでも目安になります。
5.ワイヤレスマウスとしてご使用中、マウスのLEDが赤く点滅したら、電池残量が少なくなっていますので、速やかに充電を開始してください。
※電源供給口として使用しますので、充電中はパソコンのUSBポートから電源が供給できる状態にしておいてください。（スタンバイモードや休止モードでUSBポートから電源供給が行われない場合、マウスの充電はできませんので注意してください。）
※レシーバーをマウスに収納し、電源OFFの状態でも、充電はできます。
※レシーバーをパソコンに接続し、マウスを使用中でも充電はできますが、充電時間が長くなる場合があります。



マウス（レシーバー）の接続

■本製品をUSBポート接続する際の注意（Windowsの場合）

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず初めにUSBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。

これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。
USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。
一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

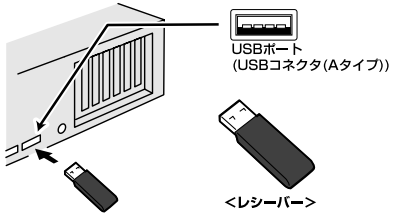
■BIOS上でUSBがdisable（ディセーブル=無効）になっている場合（Windowsの場合）

●BIOS上のUSBをenable（イネーブル=有効）にしてください。
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

マウス（レシーバー）の接続 のつづき

■レシーバーをUSBポートに接続する（Windowsの場合）

※注意：マウス用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウィルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお薦めします。
①コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
②レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続します。



③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。
④Windows Vistaの場合
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。
⑤Windows XP・2000・Meの場合
タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。
⑥Windows 98SE・98の場合
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。

新しいハードウェアの追加ウィザード

●新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイス
デバイス―― 次へ〉

（裏面へ続く）

最新の情報はインターネットで!! http://www.sanwa.co.jp/

■サポート情報
■ドライバのダウンロード
■よくある質問（Q&A）
■各種対応表　　など、最新情報を随時更新しています。

ご質問、ご不明な点などがございましたら、
ぜひ一度、当社ウェブサイトをご覧ください。

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(http://www.sanwa.co.jp/)を
ご覧ください。

サンワサプライ株式会社

2007.1

岡山サプライセンター／〒700-0825 岡山市田町1-10-1 ☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター／〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 ☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所／〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目トークマンション札幌 ☎011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所／〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝栄仙台ビル ☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所／〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤマビル ☎052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所／〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル ☎06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所／〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル ☎092-471-6721 FAX.092-471-8078
金沢 ☎076-222-8384

07/01/FWDa00

マウス（レシーバー）の接続 のつづき

●検索方法を選択してください。
⊙使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）―― 次へ〉

●新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク(☑)を入れずに ―― 次へ〉
もし、検索場所を聞いてきたら、
☑ 検索場所の設定（L）
C:¥WINDOWS¥INF ▼ ※
もしくは、
C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS
※もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、☑ CD-ROMドライブ（C）にチェックを付けてください。

●次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイス
デバイス ―― 次へ〉

●USBヒューマンインターフェイス
デバイス―― 完了

※接続が完了したら、ID設定方法（8ページ）へ。

マウス（レシーバー）の接続 のつづき

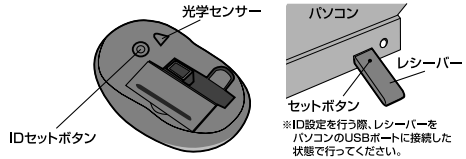
■レシーバーをUSBポートに接続する（Mac OS Xの場合）――

①コンピュータの電源を入れ、Mac OSを完全に起動します。
②レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続するだけで接続を完了します。
③接続が完了したら、ID設定を行います。（下記）
※Mac OS X（10.2以降）は、標準インストールされているInternet Explorer、Mail、TextEdit及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。

ID/チャンネルの設定方法（場合により設定）

マウスの充電が完了したら、マウスを動かしてみてください。
これでマウスが使える場合、ID/チャンネル設定を行う必要はありません。

もし、動作がスムーズでなかったり、動作しない場合、また近い環境で本製品を2台以上お使いの場合は、下記の手順に従ってID設定を行ってください。



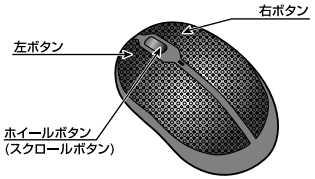
①レシーバーをパソコン本体に接続してください。
②マウス本体裏面をご覧いただき、「CH SW」の表記があるIDセットボタンをペン先などで押してください。直後にマウス裏面の光学センサーが点灯し、その後消灯致します。
③続けて、レシーバー側のIDセットボタンをペン先などで押してください。直後から、マウス裏面の光学センサーが点滅を始めます。
④正常にマウス操作が可能になったか、マウス本体を動かしカーソルが動くのをご確認ください。※うまく動作しない場合は **レシーバーを一度抜差ししてから** 再度手順①からやり直してください。

※チャンネルは12通りあり、自動的に設定されます。2台以上のマウスを有効範囲内でご使用の際、マウスの動きがスムーズでないといった場合には、このチャンネル設定を再度行ってください。
※パソコンを起動し直した場合やマウスの電源を入れ直した場合に、この設定を行う必要はありません。
※電池が完全放電後、充電を開始してしばらくの間マウスが使えなくなることがあります。

本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール（ホイールが回転し、スクロールなどの操作が行える）機能が付いており、簡単に画面をスクロールすることができますので、Windows上で、よりマウス操作が楽に行えるようになります。

本製品にはMicrosoft IntelliMouse互換機能がありますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っているソフトウェアで、幅広いナビゲーション（スクロール、オートスクロール、ズームなど）が行えます。



■左ボタン・右ボタン
左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウス動作も行いますし、コンテキストメニューの表示もすることができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

■ホイール(スクロール)
インターネットやドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

■ホイールボタン(スクロールボタン)
このボタンをクリックしたままマウスを前後左右に少し動かすと、自動的に画面がスクロールし始めます。
自動スクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

■ズーム
「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、簡単にズーム（ウィンドウ内の表示倍率を変えること）できます。
「Ctrl」キーを押しながら▼
ホイールをディスプレイ方向に回転させると、倍率が上がります。
ホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

ご使用上の注意

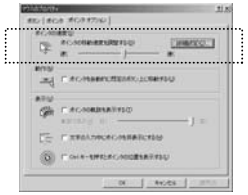
本製品は内部に光学式センサーを使用しているため、マウスを急に動かした場合に追従速度が低下し、マウスカーソルがスキップバックするといった現象が発生する場合があります。その際は、以下の設定を行ってください。

■Windows Meで本製品をご使用の場合

「コントロールパネル」→「マウスのプロパティ」→「ポインタオプション」→「詳細設定」の□ポインタの加速度(A)のチェックマーク(☑)を外してください。
(Windows2000の場合は「マウスのプロパティ」の「動作」の中にあります。)

■Windows Me/98SE/98でご使用の場合

ポインタの速度(S)を中間より遅い速度の設定にして使用ください。



「故障かな……と思ったら」

Q.マウス(マウスカーソル)が動かない。
A. 1.マウス裏面の光学センサーが光ってない場合、電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源スイッチがOFFになっていないか確認してください。(3ページ参照)
2.レシーバー及びマウスのIDが正しく設定されているかどうか確認してください。(設定方法は8ページ参照)
3.光学センサーが光らない場合、電池の残量が空になっているかもしれませんので、充電してみてください。
(4ページ参照)
4.レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-ENI等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q.マウスをしばらく操作しないと、動かし始めた際に少し時間がかかる。
A. 本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを動かすと復帰しますが、ほんの少し時間がかかります。すぐに復帰させたい場合は、右ボタンなどをクリックしてください。

Q.マウスカーソルの動きがスムーズでない。
A. 1.ワイヤレスLANや携帯電話などのワイヤレス環境の中で、このマウスは無線混信の問題を解決する為、電波干渉が発生した際自動的にチャンネルが切り替わるという機能が付いています。チャンネル変更の際、マウスカーソルは1秒～2秒程度動きが鈍くなりますが、チャンネル変更後カーソルはスムーズな動きに戻ります。これはチャンネルが自動的に切り替わる際の症状でマウスの不良ではありません。
2.光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下しますので、避けてください。
3.他のワイヤレスマウスと混信している場合がありますので、ID/チャンネルの設定をやり直してみてください。(設定方法は8ページ参照)
4.レシーバーとマウスの距離を調整してみてください。
5.金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、マウスパッド等の上でご使用になってみてください。
6.ノートパソコンでご使用の際、片手をノートパソコンの上に置いてマウスを操作すると、このような現象が現れる場合がありますので、その手をノートパソコンの上から取り除いてみてください。
7.レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(**KU-ENI**等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q.Windowsのディスプレイモードに出ているトゥルーカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。
A. 1.ハイカラーモードを選択してください。
2.トゥルーカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなります。

保証規定

1) 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、当社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2) 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
①保証書をご提示いただけない場合。
②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
③故障の原因が取り扱い上の不注意による場合。
④お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
3) お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
4) 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責を負わないものとします。
5) 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
6) 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
7) 保証書は日本国内においてのみ有効です。